



碑前祭で聶耳先生を偲ぶ



連日の猛暑のなか、7月17日(木)午前9時半から聶耳記念広場において没後90周年を記念する碑前祭が開催され、藤沢市、聶耳記念碑保存会、中国大使館をはじめとして多くの参列者が出席し、中国国歌作曲者・聶耳を偲び献花をしました。湘南日中からも柳田会長をはじめ30名近くの会員が参列しました。



(参列した鈴木藤沢市長、趙宝鋼中国大使館公使など)

また碑前祭には彩雲基金日本語スピーチコンテストで特等賞に入賞し日本研修で来藤した金文傑さんと郭照蘭さん、湘南中国語スピーチコンテス

トで最秀賞の小椋直太朗さん(藤嶺藤沢高校)など若い世代の人たちも参列し、日中友好をさらに発展させるための架け橋として貢献したいとそれぞれ挨拶しました。日本と中国の未来を担う若い世



(挨拶する藤嶺学園藤沢高校の小椋直太朗さん)

代の人たちが、碑前祭を通じて日中友好の絆を強めていくこと大変喜ばしいことです。私たち湘南日中友好協会としては藤沢市と連携しながら日中青少年の交流活動に積極的に取り組んでいきたいと思います。猛暑のなか参列された会員の皆さん、大変お疲れさまでした。

彩雲基金 日本研修旅行

第15回彩雲基金日本語スピーチコンテストで特等賞に入賞した金文傑さん(雲南師範大学3年)と郭照蘭さん(雲南民族大学3年)が、副賞の日本研修旅行に招待され7月14日に来藤しました。二人は市内の湘南工科大学の学生と交流を行ったほか、華道や茶道など日本の伝統文化にも親しみ、江の島をはじめとした若者に人気の観光スポットも回りました。



(湘南工科大学を訪問交流した金さんと郭さん)



(箱根の大涌谷観光でロープウェイに乗る)

また聶耳記念碑前祭にも参列し、日中友好の架け橋になりたいとのスピーチも行いました。7月21日、湘南日中の会員に見送られ成田空港から帰国の途に就きました。

彩雲基金へのご寄付のお願い

友好都市・昆明市で日本語を学ぶ学生たちを対象に毎年スピーチコンテストを開催し、特等賞の学生を日本に招待しています。言語を通じて日本の文化を知る貴重な機会を提供し、将来の日中友好の懸け橋となる若い世代を育ててい

ます。そのために必要な資金をご支援していただきたく皆さまのご寄付をお願いいたします。

《寄付金の振込口座》

ゆうちょ銀行 00230-2-47875 「彩雲基金」

横浜銀行辻堂支店 (普通預金) 1603294

「彩雲基金会計 岡部初子」

昆明市へ29人の青少年派遣



(昆明市の西山墓地を参拝し聶耳先生の功績を学ぶ)

8月18日～21日の日程で藤沢市の青少年が昆明市を訪問しました。これは昆明市の招聘により藤沢市が派遣したもので、数年来湘南日中として要望してきた日中の青少年交流事業がようやく実現したものです。訪問団は6大学3高校(日大、藤嶺藤沢高、藤沢西高など)の29人で構成され、昆明では聶耳先生の西山墓地参拝、聶耳記念館見学などとともに、雲南民族村と石林の観光も行いました。また雲南大学滇池学院、昆明西南聯大研究院附属学校の学生や高校生との交流も行い、お互いの学校生活を紹介したり、文化交流として「折り鶴」の折り方を教えたりして、終始フレンドリーな雰囲気で友好交流が行われました。

事務局から 結成50周年記念の総会

が終わったら、疲れのせいか暑さのせいか分からぬが、しばらく一種の「ロス」状態になってしまった。仕事に取り掛かるまでに余計な時間がかかってしまう。〆切がある仕事も多いので自分の尻に鞭を当てて頑張っている。それにしても今夏の暑さは尋常ではない。雨もほとんど降らないので庭に植えたゴーヤが一向に実を付けない。しようがないので高価なゴーヤを買ってきてチャンプルーを作っている(上野)